

建設現場の課題に“技術”がつながる マッチング3件が成立！

～これが解決できれば“現場が変わる”。そんな現場の声が、今年も新たな技術とつながり始めました～

i-Construction を推進するために実施している「**現場ニーズ・技術シーズのマッチング**」（以下、「**マッチング**」）は、**建設現場における課題（現場ニーズ）を埋もれさせることなく公募し、その課題を解決できる新たな技術を持つ開発者等（技術シーズ）と結びつけることで、現場への新技術の導入と生産性向上を図る**ものです。

中部地方整備局では、令和7年度の現場ニーズ 13 件に対して技術シーズを広く募集した結果、**3件のマッチングが成立**しました。

現場が抱えるリアルな課題に応える新たな解決策が、今年もいよいよ動き出しました。

1. マッチング技術一覧

下表のとおり、3件の技術シーズとのマッチングが成立しました。

令和8年度からは、選定された技術シーズの有効性を確認するため、当局事務所が管理する実際の現場フィールドにおいて「現場試行」を実施します。現場試行では、応募者が作成する試行計画書に基づき効果検証を行い、その結果を試行結果報告書として取りまとめ、新技術としての有効性や適用性について評価を行っていきます。

現場ニーズ	技術シーズ	シーズ提供者
日々の規制作業を省力化できる、無線型・薄型のデジタル工事看板サイネージが欲しい。	安価で構造が簡単で要求性能を満たすサイネージ装置 ～省電力、遠隔制御、タイマー内蔵の多機能装置～	株式会社ファイトロニクス
	TREG 液晶ポスター ～電源工事不要・完全無線のフルカラー電子ペーパーによる、デジタル工事看板の省力化～	株式会社 IGREK Plus
騒音・振動・粉じんをリアルタイムで自動監視・通知できる小型モニタリング装置が欲しい。	エッジ見守りセンサーボックス ～スーツケース型ユニットによる騒音・振動・粉じんのリアルタイム監視・自動通知システム～	ビーコア株式会社

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会

【問合せ先】

国土交通省 中部地方整備局 企画部 中部インフラ DX 推進室

建設情報・施工高度化技術調整官 竹原 雅文（たけはら まさふみ）

建設専門官 高井 知啓（たかい ともひろ）

直通：052-953-8131